



「私家版鹿沼市検定番外編 いちごパート②」

検定実施日 令和三年 月 日

1 次の、「いちご」に関する問いに、それぞれ答えなさい。

問一 「全国いちご消費拡大協議会」が制定した「いちごの日」とは、何月何日か。

問二 「いちご」を、漢字で書きなさい。

問三 次の説明に合う、「いちご」の種類名を後から選び、記号で答えなさい。**太字**は、ヒントとなる部分である。(参照: Delicious Web/oishikeriya.com/Pacomajしおとりトナンドニュース/oishiki-kudamonono.com/kudamononavi.com/旬の食材百科)

(1) 2014年に品種登録された、**栃木県**の品種で、大きさ、見た目、味の全てが大空に届くようにとの意味を込めて名付けられた。「とちおとめ」より大粒で、形は綺麗な円すい形。多汁で甘みと酸味のバランスが良い高級いちご。

(2) **愛知県**が2007年に登録した県オリジナル品種で、多汁で適度な甘みと酸味がある。果皮が硬く傷みにくく、栽培が簡単で味が良く、完熟間際で収穫できる上、完熟しても黒ずみなく光沢が続く。大粒で円すい形で、果肉は淡い紅色に中心には空洞がある。病害虫に強く、減農薬で栽培しやすい。

(3) 2002年に品種登録された、**徳島いちご**の代名詞。親品種「章姫」の香りと糖度、「さちのか」の酸味とコクを引き継ぐ。果肉はやや硬めで、外観はやや長めの円すい形。出回り期間は長い。果肉の色は鮮やかな赤色で半分にカットすると断面の模様がきれいに出る。果肉の赤色が鮮明でジャム利用にも向く。

(4) **佐賀県**を代表する主力品種で、主に九州地方で栽培されている。果皮は艶のある紅色で果肉はきれいな白色。糖度が高く酸味が少ないので食べやすい。果肉は円すい形で粒のそろいが良い。

(5) **三重県**が品種改良し、2010年に登録された。リナロールという**香気成分を多く含んでいる**のが特徴。**フレッシュな香り**で、いちごの香りや甘さをより濃厚に感じられる。

(6) **鹿児島県**の生産者によって育成された**白いちご**。「ちがほのか」の変異株で2013年に登録された新品種。表皮の色は淡い橙色から桜色。果肉もほんのり橙色。縦長の円すい形。糖度は高く酸味は少なめめで果肉はやや歯ごたえがある。

(7) **栃木**で10番目となる、**オリジナル新種いちご**で、別名「栃木i37号」とも呼ばれていたもの。2019年初出荷された。**「いちごの味の女王」**の**あじさわかび**の**この意味**がある名前です。購入者からの多数の応募から選ばれたネーミング。果肉が詰まっており、香りが強く、際立った甘さでまろやか。

(8) **群馬県**の育成品種で2005年に登録。**最盛期は3月なので、この名前が付いた**。円すい形で果皮は少しオレンジがかった明るめの赤色。大粒でほかのイチゴより食感は硬く、日持ちし傷みにくい。甘味が強く香りも高く身が引き締まっている。

(9) 長年愛されている**徳島いちご**。大きさは、「女峰」の1.5倍。ピンクがかった薄い赤と細長い円すい形が特徴で、上品な甘さで酸味がほとんどない。口当たりは滑らかでみずみずしい。**果皮は柔らかい**。形がそろっているのでケーキなどのトッピングにも適する。

(10) 2001年に品種登録された、**栃木県**が生産地のイチゴ。**果肉は柔らかくいたみやすい**ため、市場に流通することが難しく、栽培は栃木県に限定されている。主に、観光いちご園での摘み取りや購入でしか手に入らない、**希少品種**。生産量よりも美味しさ重視のため、生産量は少ない。

(11) 「さちのか」を親に持つ2012年に登録された品種。**トナリんが既存品種より多い**のが、特徴。香りも強い。

(12) **栃木県**で生まれた品種で、1985年に品種登録された。かつては、西日本の「とよのか」に対し、**東日本の代替種だった**。今では、いちご全体の1%程度しか作られなくなっている。やや小ぶりだが、日持ちが良い。果皮が濃い赤色で美しく、香気があり多汁。甘味と酸味をしっかりと感じられ、深みのある味わい。**生産量は減少している**が、ケーキやお菓子などの加工用として重宝されている。

(13) **「女峰」代替種の新品種**として、「おこしご」「おおきご」「作りやすい」を重点において誕生。1996年に登録。生産量、知名度共にナンバー1、と言える品種。酸味が少なく甘みが強い。果肉は比較的硬く、日持ちは良い。大粒で円すい形。**栃木県内では9割以上の品種を栽培**。

(14) 2014年に「紅ほっぺ」以来、15年ぶりに登場した**福岡生まれの新種**。糖量と光沢ある外見が特徴で、酸味は控えめで濃厚な甘さを楽しむ。

(15) **高知県**のオリジナル品種で東北の寒冷地の気象条件に適した品種。大粒で甘みと酸味のバランスが良く、**「ついでにもう一個や手が伸びてしまつてから名付けられた**。果肉は硬く、日持ち性に優れる。果皮は鮮やかな赤色でがくの付け根までしっかりと色が付く。果肉は中心まで淡い赤色で空洞はほぼない。

(16) **山梨県**の会社と福島県の育種者が開発し、2009年に登録した、熟しても赤くならない、**ギフトに人気の「白いちご」**。果肉も白色であり日持ちはしない。**独特の香りが強い**。しっかりと甘みがあり、酸味は少ないがイチゴ本来の味とジューシーさを感じる。生産量は少なく、ギフトに人気がある。

(17) 「とよのか」に代わる品種として、**福岡県**農業総合試験場で育成され、2005年に登録。**「あかい」「まるい」「おおきい」「つまんじの頭文字を合わせて名付けられた**。商標登録されているため生産販売できるのは福岡県の生産者のみに限られる。酸味が少なく甘みを感じやすい。果皮は濃い紅色でツヤがある。

(18) **長崎県や佐賀県**などを中心に、多くの生産者があり、**市場でもよく目にする品種**。ビタミンCが多く、歯ごたえがしっかりしている。安定した糖度で酸味は少なめ。果肉が硬めで噛み応えがある。果肉は濃い紅色で形も良くそろっている。日持ちが長く輸送に優れる。熟しすぎると外観が黒ずんだ赤になりやすい。

ア 女峰	イ とちおとめ	ウ とちあいか	エ とちひめ	オ スカイベリー	カ あまおう
キ さちのか	ク 紅ほっぺ	ケ きらび香	コ 章姫	サ ゆめのか	シ 初恋の香り
ス 淡雪	セ さがほのか	ソ もつっこ	タ やよいひめ	チ おいCベリー	ツ かおり野

